

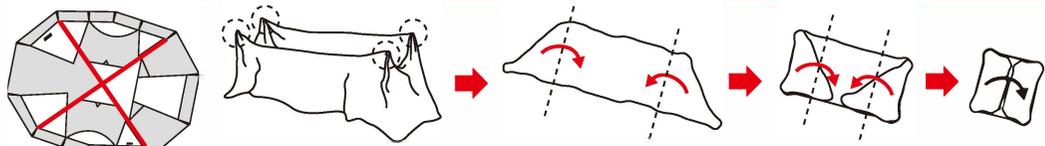
# 撤収手順

**STEP 1** ルーフフライ、吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。



**注意**

テントを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



たてに半分に折り重ねる。

両端を中へ折り込んで長方形にする。

長方形を更に中へ折り込み、収納ケースの幅と同じサイズにたたむ。

**STEP 2** 取り外したインナーテントを広げ、空気を逃がすために前後のドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



フロント

同様に後部ドア側とサイド面も全て同様に折りたたむ。

コーナーをおさえながらメインポールのスリーブの端を持ってドア面をきれいに伸ばし、外側へ折りたたむ。

たたんだインナーテントを30cm程ずらすようにして縦にたたむ。

更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

ドアを中心としてサイド面を内側に折りたたむ。



**注意**

使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビ発生の原因となります。

**STEP 3** ポールを全ておとりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



たたんだフライシートをポールケースを芯にして巻いていく。

巻き終わったフライシートを芯にしてインナーテントを巻いていく。



**注意**

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス: **0120-111-957**

受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

# WEATHERMASTER® 4S DOME NOTOS /300

[ ウェザーマスター® 4Sドームノトス /300 ]

## 取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

# 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の悪天候の際は危険ですのでテント、タープの使用はおやめください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所にテント、タープを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

# 収納・管理の注意

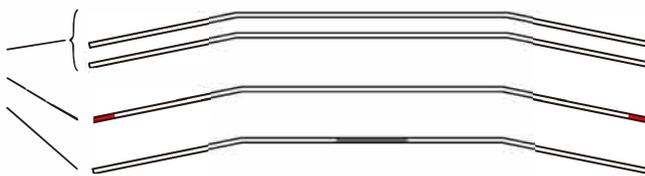
**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納すると腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

# 各部の名称・セット内容

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- フライシート 1張
- インナーテント 1張
- メインポール(グレー) 2本
- フロントポール(グレー/レッド) 1本
- リアポール(グレー/ブルー) 1本
- 自在ロープ(グリーン) 2本
- 自在ロープ(ベージュ) 4本
- ペグ 20本
- ハンマー 1本



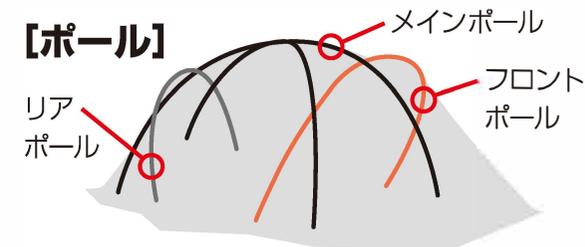
## 完成図



## 【インナーテント】



## 【ポール】



## 【バック側】

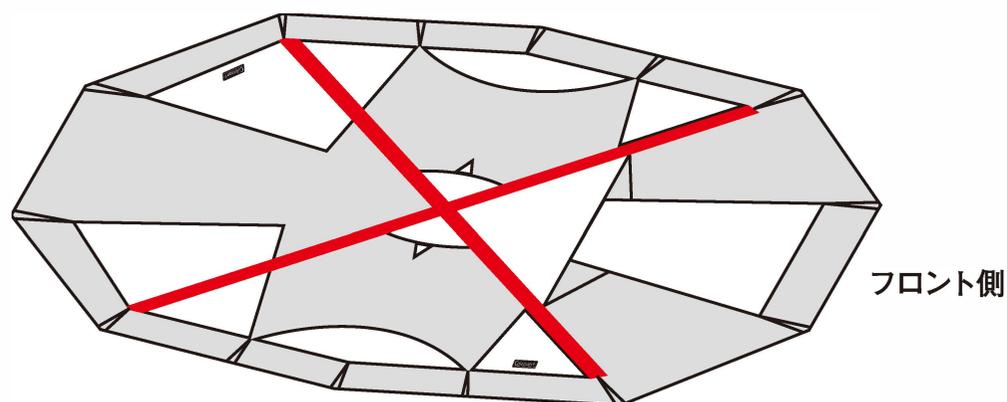


**※設営時のポイント**  
本製品は、各ポール・スリーブ・ループの一部を色わけしており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドピンにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

# 設営手順

## I フライシートを広げる

**STEP 1** フライシートを広げます。キャンピー、ドアのファスナーは閉じておきます。グレー色のキャンピーがフロント側になります。



## II メインポールをセットし立ち上げる

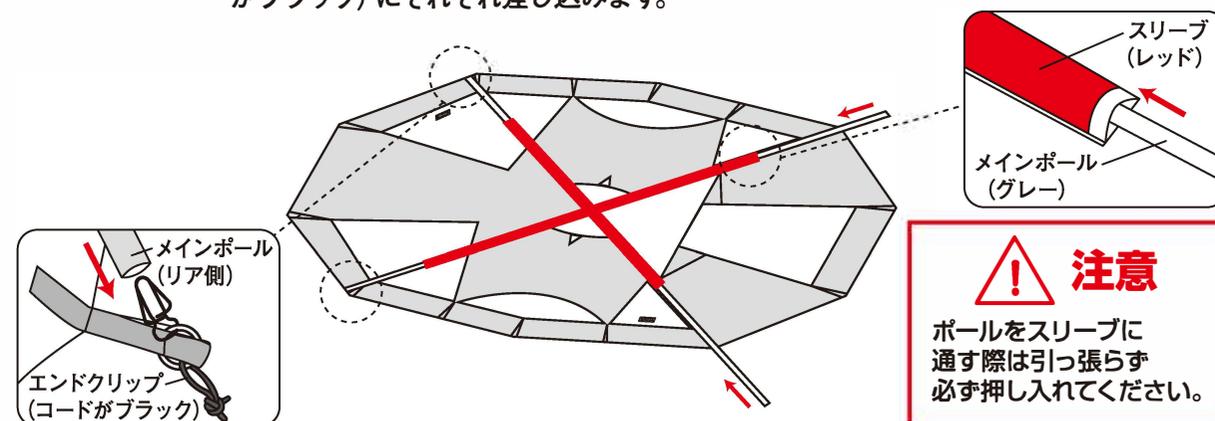
**STEP 2** メインポール (グレー) 2本を伸ばします。



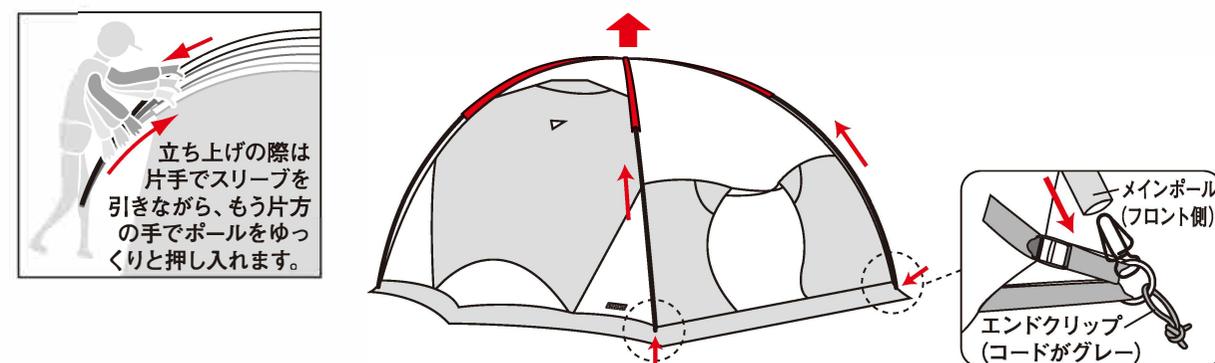
**注意**

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 3** メインポール (グレー) をフライシートのメインスリーブ (レッド) に通し、メインポール (グレー) 2本のリア側の端を、フライシートのコーナーにあるエンドクリップ (コードがブラック) にそれぞれ差し込みます。



**STEP 4** メインポール (グレー) 2本を立ち上げ、メインポール (グレー) 2本のフロント側の端を、フライシートのコーナーにあるエンドクリップ (コードがグレー) にそれぞれ差し込みます。



**注意**

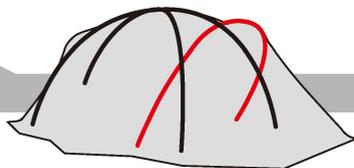
メインポールは2人で2本同時に、徐々に立ち上げてください。立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくり押し入れます。スリーブを持たずに押し込むと、ポールが折れたり生地が破れたりします。



**注意**

ポールをエンドクリップ (エンドピン) に差し込む際、指などをはさまないように注意してください。

### III フロントポールをセットする

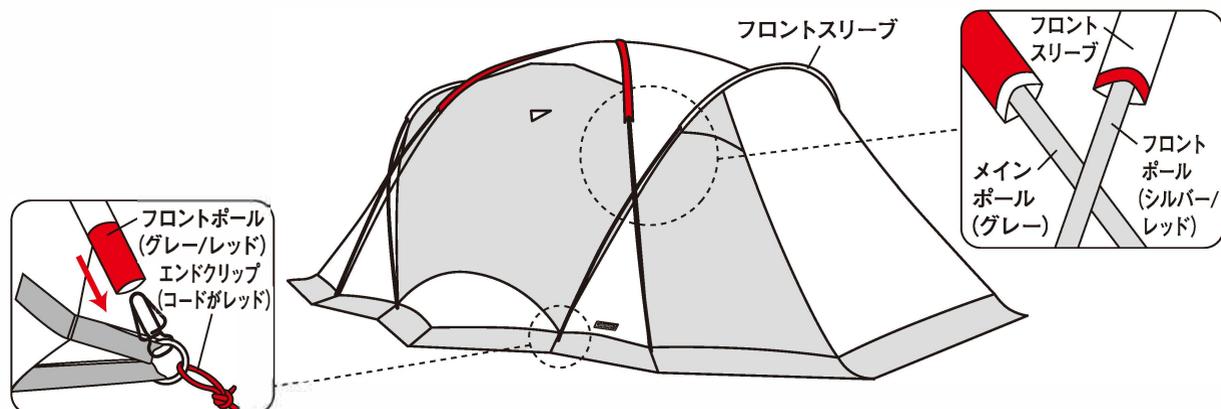


**STEP 5** フロントポール (グレー/レッド) 1本伸ばします。



**!** **注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

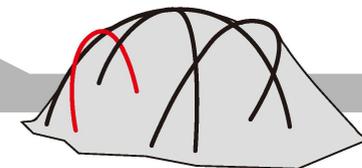
**STEP 6** フロントポール (グレー/レッド) をフロントスリーブに通します。フロントポールはメインポールの上を通ります。ポールの端をフライシートのエンドクリップ (コードがレッド) に差し込みます。



**!** **注意** ポールを通す際は必ずスリーブを持って押し込んでください。スリーブを持たずに押し込んだり、ポールを引き入れたりしますと、ポールやスリーブが破損するおそれがあります。

**!** **注意** ポールをエンドクリップ (エンドピン) に差し込む際、指などをはさまないように注意してください。

### IV リアポールをセットする

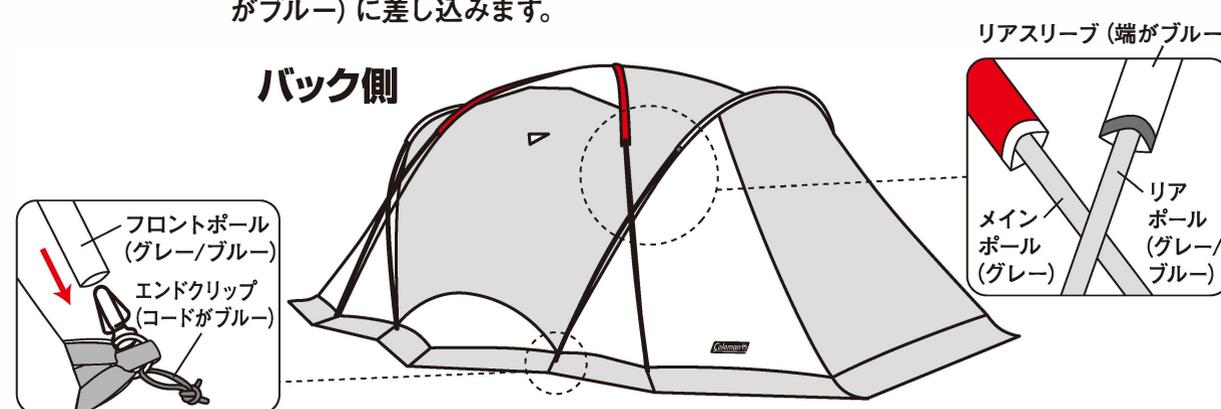


**STEP 7** リアポール (グレー/ブルー) 1本伸ばします。



**!** **注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 8** リアポール (グレー/ブルー) をリアスリーブ (端がブルー) に通します。フロントポールはメインポールの上を通ります。ポールの端をフライシートのエンドクリップ (コードがブルー) に差し込みます。



**!** **注意** ポールを通す際は必ずスリーブを持って押し込んでください。スリーブを持たずに押し込んだり、ポールを引き入れたりしますと、ポールやスリーブが破損するおそれがあります。

**!** **注意** ポールをエンドクリップ (エンドピン) に差し込む際、指などをはさまないように注意してください。

## V すべてのポールをフックやテープで固定する

**STEP 9** フライシートについているフックをポールに掛けて固定します。



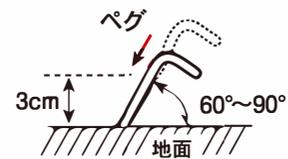
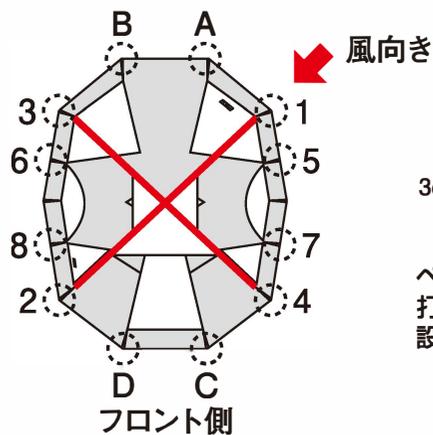
**注意** フックをポールに掛ける際、指などははさまないように注意してください。

## VI 設営位置を決めて固定する

**STEP 10** 前後のキャノピーのファスナーをすべて閉めます。

**注意** ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

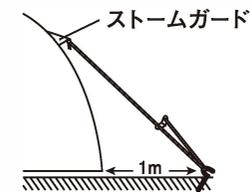
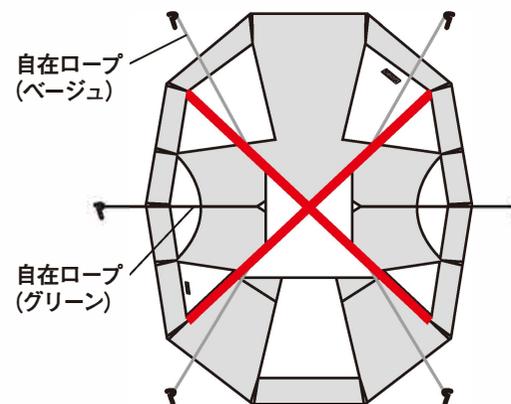
**STEP 11** 設営位置を決め、図のように8ヶ所のループを風上より順に(①~⑧)対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。前後のループを張り出し、ペグで4ヶ所(A-D)を固定します。



ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

## VII ロープを張り固定する

**STEP 12** ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

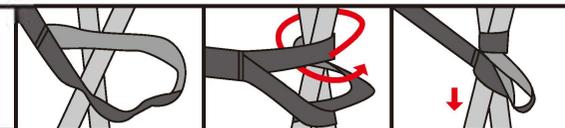


自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

**注意** 大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

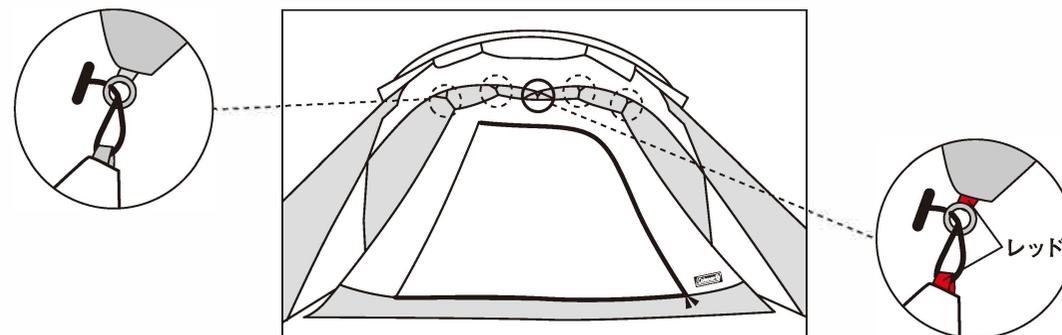
上・右図の要領にて6ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグを打ち込み固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

ストームガード  
本製品はストラップ状のストームガードをポールに巻きつけて固定することにより、安定性をさらに高めています。



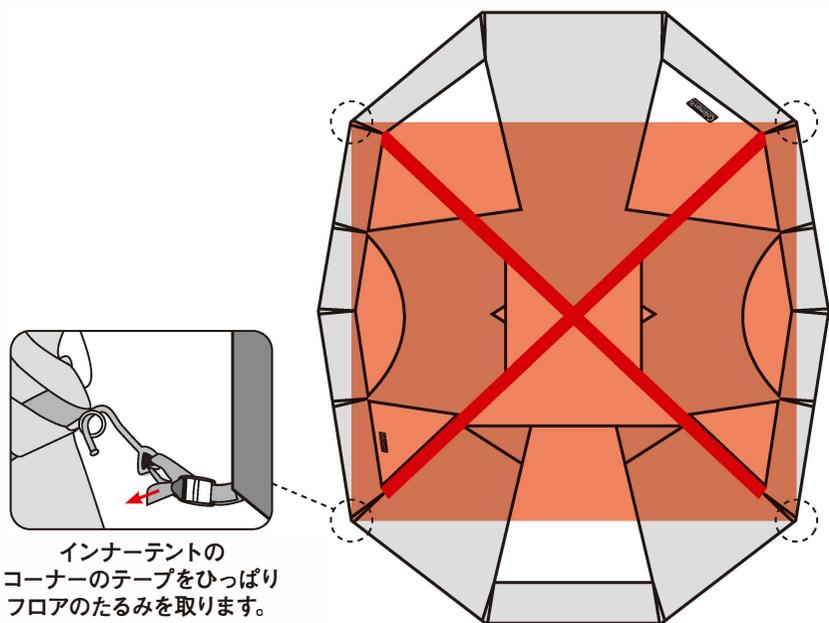
## VIII インナーテントをセットする

**STEP 13** インナーテントを吊り下げます。フライシートの内側にあるリングにインナーテントのトグルを掛けます。インナーテント中央頂点とフライシート内側中央には、赤いテープでトグルとリングがそれぞれついています。位置合わせの参考にしてください。



## STEP 14

インナーテントフロアのコーナー4ヶ所を固定します。  
インナーテントコーナーのフックをフライシートのリング4ヶ所にひっかけます。



## STEP 15

メインポールフロント側のコーナーにあるテープを引き、フライシートのたるみを取って張り具合を調節します。

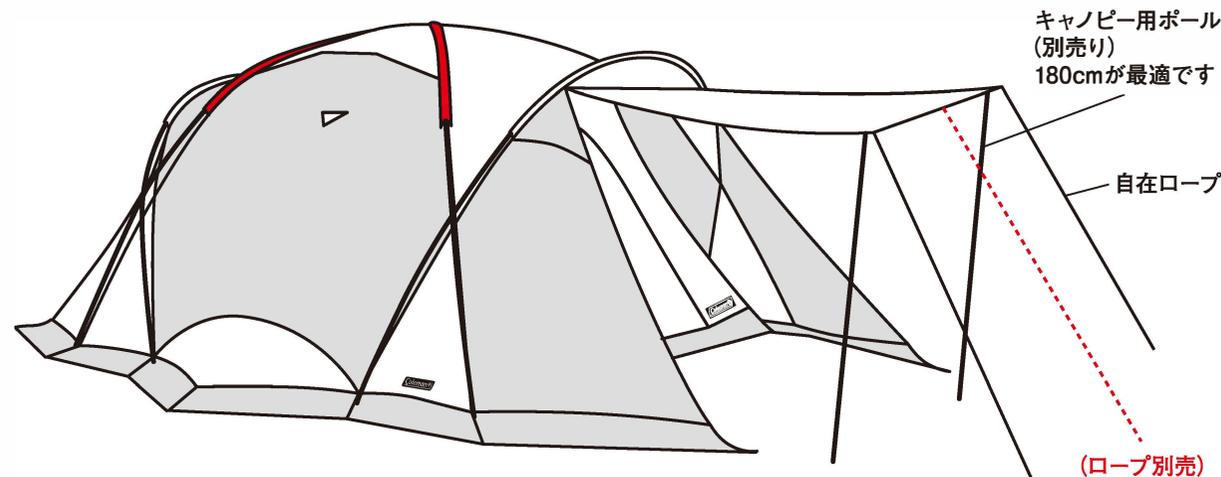


## IX

## キャンピィーを活用する

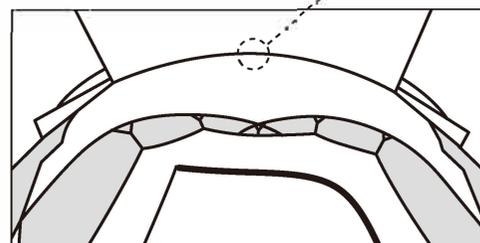
## STEP 16

キャンピィーとして活用する場合は、別売りのキャンピィー用ポールとロープを使用します。



### ハイビューシステム

フロントキャンピィーの中央部のバックルをしめることにより、中央部のたるみを取り、キャンピィーを高く使用できます。



### 注意

雨天時にキャンピィーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープ(別売)を結びペグ止めて雨水を流してください。



### 注意

雨天時にキャンピィーを使用する場合は、ハイビューシステムのバックルを外してください。



### 注意

風の強い時は、必ずキャンピィーを閉じてください。ポールが折れる可能性があります。